PERSONA® C30
by FARGO®

取 扱 説 明 書

カードプリンタ PERSONA　C30 は、マイクロソフト社の Windows 互換性基準に適合しております。

株式会社メディングは、HID 社の日本正規代理店です。

この度は、PERSONA C30 をご購入頂きありがとうございます！

本書は PERSONA C30 をより良く理解して頂くために、

株式会社メディングが作成したオリジナル取扱説明書です。

ぜひ、ご一読いただきご活用下さい。

本書をお読み頂き、なおご不明な事項がございましたら

下記にご連絡下さいますようお願い申し上げます。

フリーコール　0800－123－5111

カードプリンタの最新ファームウェア・ドライバ等は下記アドレスからダウンロード頂けます。

URL： http://www.meding.jp/printer/driver.html

株式会社メディング

2014 年 2 月
C30 取扱説明書 第 4 版
編集 ・ 制作　前野恭治

目　次

－ CONTENT －

序章　カードプリンタのクリーニングについて ……… 2

磁気ユニットのクリーニングについて ……… 7

1．ドライバインストール手順 ……… 9

2．リボンカートリッジの取り付け ……… 13

3．取り付けリボンの設定（オートリボンセレクト） ……… 14

補足：リボン残量の確認方法 ……… 16

困ったときの Q＆A

Q1．リボンが認識されません。（リボンセンサーの初期化） ……… 17

Q2．カードが詰まりました。（エラーメッセージ編） ……… 21

Q3．カードが詰まりました。（プリンタリスタート編） ……… 22

Q4．リボンが切れました・詰まりました。 ……… 23

Q5．印刷結果が薄い（濃い）です。 ……… 25

Q6－1．黒にしたい部分がグレーで印刷されます。 ……… 28

Q6－2．写真の一部が黒ベタで印刷されます。 ……… 32

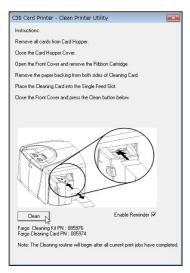
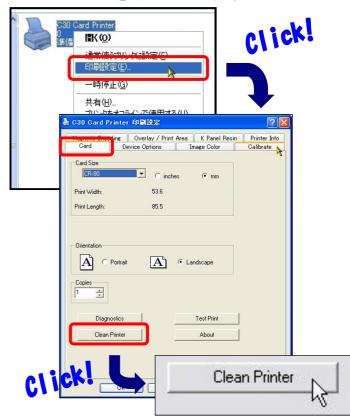
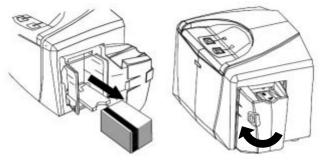
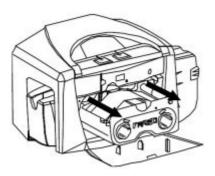
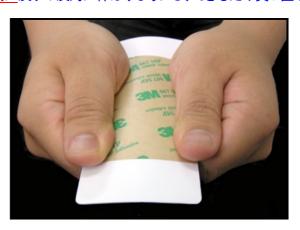
序章．カードプリンタのクリーニングについて

手順１　ソフトウェアクリーニング（定期）

この内容は Windows XP の画面を基に記載しております。

『C30』カードプリンタは印刷品質を保つため 約 1,000 枚 の印刷ごとにソフトウェアクリーニングが必要です。
クリーニングの実行は必ず下記の手順で行って下さい。
そのまま継続して印刷を続けますと、プリントヘッドの保証が無効となり、また給紙エラーが発生しやすくなります。
印刷枚数が 1,000 枚に達していなくてもカード給紙が悪くなりましたら、随時クリーニングを実行していただいて問題ございません。

パソコンの左下のスタートボタンから
スタートメニューを表示し『プリンタと FAX』
をクリックします。

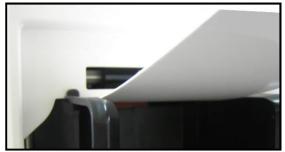
下の写真のような
『C30 Card Printer − Clean Printer Utility』
の画面が開きましたら、一旦パソコンの操作を、そのままの画面にし次にプリンタ本体の準備を行います。

プリンタの一覧から『C30 Card Printer』を右クリックし、
”印刷設定 (E)”をクリックします。
『C30』の印刷設定画面が開いたら左下の
”Clean Printer”をクリックして下さい。

プリンタ本体のカード給紙ホッパーから残っている
すべてのカードを取り除いて、ホッパーを閉じて下さい。

続けて正面カバーを開き、リボンカートリッジを取り出してから、カバーを閉じて下さい。

クリーニングカードは両面に粘着シールが貼られていることから両端が反っている場合があります。
両面のはく離紙を取り除く前に反りの反対に伸ばすようにし、できるだけ真っ直ぐになるようにして下さい。

クリーニングキットから新しいカードを取り出して、両面のはく離紙を取り除いて下さい。
※はく離紙は片面に１片、もう片面に２片で合計３片になります。磁気ユニットがオプションで装着されている場合
だけは、一番幅の小さな片だけ取り除かずにして下さい。
この場合の本体への差込み方向は上面手前側になるようにセットして下さい。

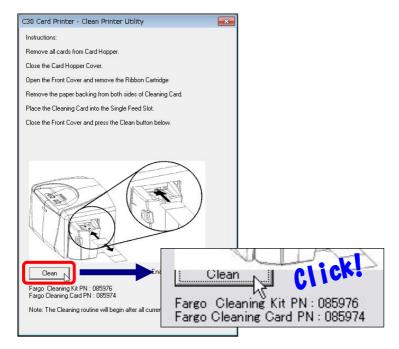
上面（手前）
磁気ユニットオプションが装着済み
本体の場合だけはこの片を残して下さい。

カード給紙ホッパーを開いて下さい。

カード給紙トレイを固定されるまで降ろして下さい。

トレイのあったカード給紙部を正面から見ると赤色のゴムと黒色ローラーが確認できます。
両方の間（隙間）にクリーニングカードを仮差込みします。
※はく離紙は片面に１片、もう片面に２片で合計３片になります。磁気ユニットがオプションで装着されている場合だけは、一番幅の小さな片だけ取り除かずにして下さい。
この場合の本体への差込み方向は上面手前側になるようにセットして下さい。

下の「A 図」と「B 図」のように仮差込みします。
※仮差込みする深さは大体 3cm～4cmとなります。

A図

クリーニングカードを手差して準備ができたら、パソコンの画面に表示しておいた
『C30 Card Printer – Clean Printer Utility』の左下にある"Clean"をクリックして下さい。
プリンタがクリーニングを開始します。

手差しカードスロットからクリーニングカードが給紙され、内部で数回ほど左右に動作します。
その後カード排紙ホッパーよりクリーニングカードが排紙されましたら **完了** です。

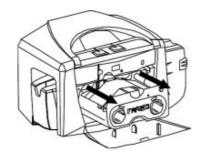
ワンポイント！

クリーニングカードの取り込みは通常3回連続して行われますが、3回以内に取り込みができなかった場合には一時停止状態になります。もしクリーニングの途中でこのようになった場合には正面から向かって右のボタンが点滅状態になりますので、クリーニングカードを押し込みながら右のボタンを軽く押して再実行させて下さい。

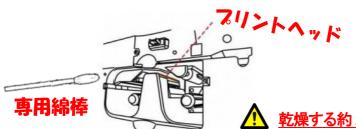
手順２ プリントヘッドクリーニング

※プリントヘッドは、壊れやすいパーツです。
くれぐれも専用綿棒以外では触れないようにして下さい。

プリントヘッドは定期的に清掃する必要はございませんが、もしも印字汚れ等が出るような場合はクリーニングキット同梱の専用の綿棒でクリーニングを行って下さい。

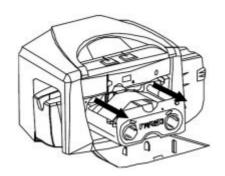
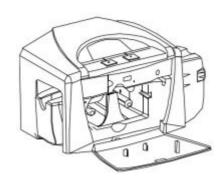
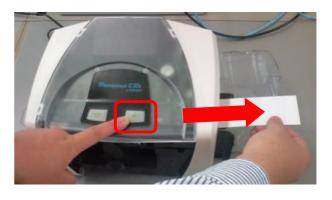
フロントカバーを開き、リボンカートリッジを取り出して下さい。

クリーニングキットから
専用綿棒を取り出して下さい。

専用綿棒はクリーニングキットの購入時期によって、仕様が変更になったため、スポンジ部分の根本を折るように絞り筒状の中にあるアルコールが染出すように裂いて使用するタイプと、小包装で密閉され最初からアルコールを染みこませてあるタイプがあります。

下図のプリントヘッドの位置に専用綿棒を押しあて、3～5回綿棒を前後に動かして拭いて下さい。

乾燥する約 2 分間はプリンタを使用しないで下さい。

手順３ 手動アルコールカードクリーニング（定期）

3,000 枚ごとのローラークリーニングはアルコールカードを使用します。
アルコールカードは袋に密閉されているので封を破ってください。

本体からインクリボンを取り外してプリンタのトップカバーを開いたままにしてください。

アルコールカードを右側のカード給紙口に差し込んでプリンタ本体の左ボタンを長押しするとアルコールカードがプリンタ内部に吸い込まれて行きます。
左ボタンを3秒～4秒ほど長押しした後、右ボタンを同様に長押しします。
この作業を数回繰返し行って内部の汚れを清掃してください。
清掃後はアルコールカードが左側へ完全に排出されるまで、左ボタンを押し続けてください。
インクリボンとカードをセットしてクリーニング終了です。

磁気ユニットのクリーニングについて

エラー時のクリーニング手順（随時）

※磁気ユニットのヘッド部は、壊れやすいパーツです。
脱着時に衝突などで傷が入らないようにして下さい。

『磁気ユニット（オプション）』は接触型の装置のため長期間使用する中で **約 1,000 枚** の印刷毎か、もしくは **ピーという信号音と共に画面上に「磁気ベリファイエラー」**と表示された場合に手作業でクリーニングが必要となります。
クリーニングの実行は必ず下記の手順で行って下さい。

磁気ベリファイエラー　の画面サンプル
表示される原因は下記の 3 点です。

① 磁気ユニットのヘッド部が汚れている
② 接触面に磁気ストライプが存在しない
③ カードの磁気ストライプ不良
④ 磁気ユニットの物理的な破損

①の場合にクリーニング作業が必要となります。

注意！：ショートの可能性がありますので作業する前には、本体の電源ボタン（正面から見て左側）を押して電源ランプを消灯させ、背面の電源ケーブルを必ず抜いて下さい。
プリンタ前面のカバーを開いて、左上の磁気ユニット専用保護プレートの固定ネジをプラスドライバーで外して下さい。

磁気ユニットを下写真のように手前に引っ張り、手前に引き出して取り外して下さい。

取り外した磁気ユニットをクリーニングキットの布を使ってクリーニングします。
お手元にクリーニングキットの布をご用意下さい。

下写真で赤く囲まれている部分を少し強めに、こすって汚れを落として下さい。
※強さの目安は窓ガラスを濡れ布巾で掃除するぐらいが良い

⑤ クリーニング後は、プリンタ前面のカバーを開いて本体左上の磁気ユニット用スロットに内側のガイドに沿って
しっかりと奥まで差込んで再度装着して下さい。

左上の磁気ユニット用スロットに磁気ユニット専用保護プレートを取り付けて固定ネジを使って
プラスドライバーで締めて下さい。
注意！：装着後は本体の電源を入れて下さい。

1．ドライバインストール手順

本機をお使い頂くために

本機をパソコンと接続してご使用になるためには、プリンタに同梱されているドライバ CD から専用ドライバをパソコンのハードディスクにコピーする（インストールする）ことが必要です。ドライバのインストールは必ず下記の手順で行って下さい。
ドライバインストールの作業はご購入後の初回（1 回目）のみです。1 度インストールされた後は行う必要はありません。

重 要 ‼

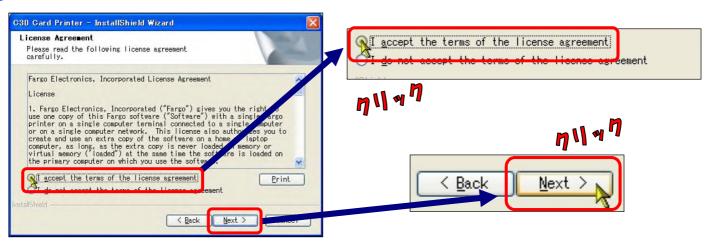
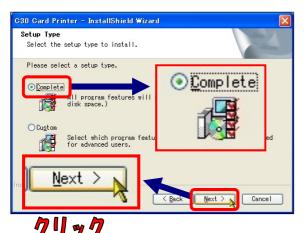
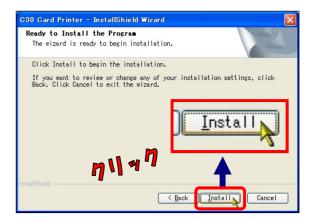
- **背面の USB ケーブルは、指示があるまでプリンタに接続しないで下さい。**
  最初から接続されている場合、インストールが正常に行われません。
- **電源ケーブルは最初から接続して頂いても構いません。**

① パソコンの電源を入れて、Windows を起動します。
※既に電源が入っている場合は、起動している
プログラムやアプリケーションをすべて終了して下さい。

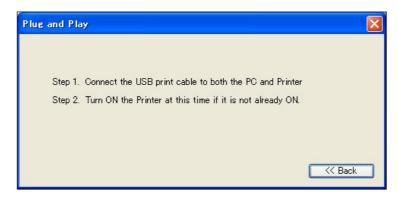
② 付属のドライバ CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
インストールプログラムが自動的に起動します。

③ 『インストールメニュー』画面が表示されましたら、"INSTALL"をクリックします。
インストールの準備が始まります。

④ 以下のような画面が表示されましたら、"Next"をクリックしてインストールを続行します。

⑤ インストールの途中に以下のような『使用許諾規約』の画面が表示されましたら、
"I accept the terms of license agreement"（了承）をクリックしてから"Next"をクリックしてインストールを続行します。

⑥ 下図左の画面のようにセットアップタイプを選択する画面が表示されますので標準の"Complete"になっているのを確認した上で、右下の"Next"クリックします。 続いて、下図右の画面が表示されたら"Install"をクリックします。

クリック

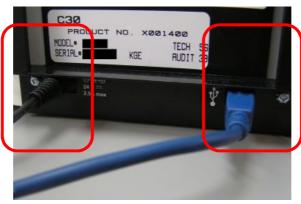
⑦ 進捗度がメータで表示され、しばらくファイルのコピーが行われた後に『Select The Printer Port』の画面が表示されましたら、"OK"をクリックします。 ※設定は USB に最初から合っていますので他はそのままにして下さい。

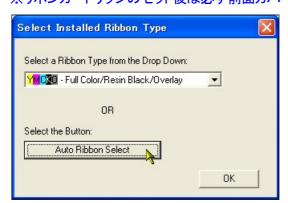
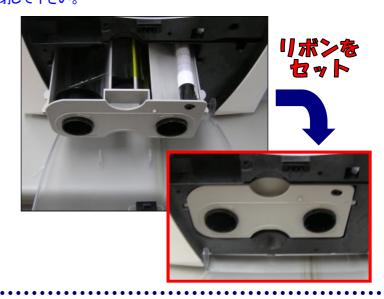
⑧ 『Plag and Play』の画面が表示されましたら、画面を一旦そのままにしてプリンタ本体の準備に移ります。

⑨ プリンタ背面の USB コネクタの部分には、誤ってインストールの最初から USB ケーブルを挿さないように
【 STOP 】 ATTENTION！ と書かれたシールが貼られています。
本体の準備に入る前に、必ずはがしてから作業を行って下さい。

はがして問題ありません。
必ずはがして下さい。

⑩ プリンタ本体の背面にある『電源コネクタ』と『USB コネクタ』にそれぞれのケーブルをしっかりと接続して下さい。
※既に電源ケーブルが接続されている場合には、USB ケーブルの接続だけで構いません。

電源コネクタへ接続

USBコネクタへ接続

⑪ ケーブルが正しく接続されますと、パソコンの表示が『Select Installed Ribbon Type』に自動的に切り替わります。
プリンタ本体のフロントカバーを開けて、ご使用になるリボンカートリッジをセット（挿入）して下さい。
※リボンカートリッジのセット後は必ず前面カバーを閉じて下さい。

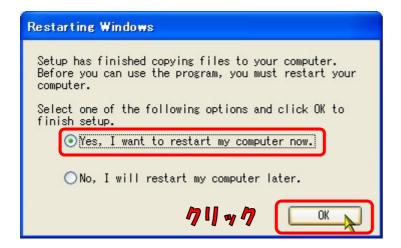
リボンをセット

⑫ リボンカートリッジがセット出来ましたら、パソコンの『Select Installed Ribbon Type』画面にある"Auto Ribbon Select"をクリックして下さい。正常にセットが完了した場合には画面上に"The current ribbon selection is correct"と表示されます。確認出来ましたら"OK"をクリックして下さい。

クリック

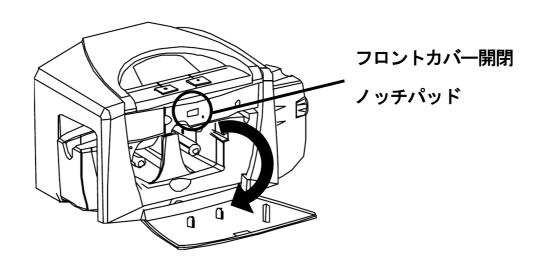
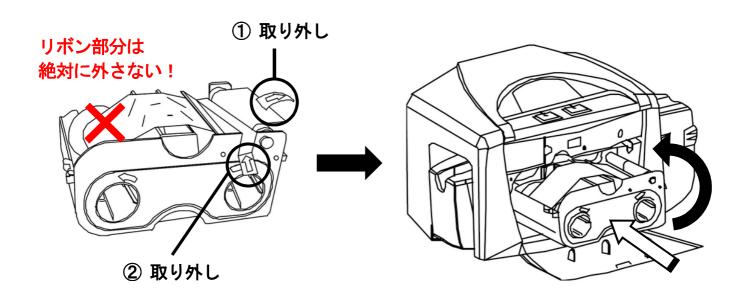
クリック

画面が『Select Installed Ribbon Type』に戻りましたら、"OK"をクリックして下さい。

⑭ インストールが完了しますと、画面下に"Finish"と表示されますのでクリックして下さい。

⑮ 最後に"Restarting Windows"の画面が表示されます。
インストールを完了するためにパソコンの再起動が必要ですので、右下の"OK" をクリックして下さい。
これでプリンタの設定は完了です。パソコンの再起動後にプリンタを利用可能になります。

2. リボンカートリッジの取り付け

本機は一体型リボンカートリッジ方式を採用しています。
一体型リボンカートリッジは、インクリボンとカードクリーニングローラーの組み合わせで構成されています。

本体のフロントカバー上部(ノッチパッドがある付近)を押しを、下図のようにフロントカバーを開いて下さい。
※新しいリボンと交換する場合には開いた後、使用済みのリボンを手前に引いて取り出して下さい。

②
新しいリボンを袋から取り出し、クリーニングローラーの保護紙(①取り外し)をとり外して下さい。
次に、リボン回転防止テープ(②取り外し)を取り外して下さい。
2ヶ所の取り外しが出来たらリボンカートリッジを本体に取り付けてから、フロントカバーをしっかりと閉じて下さい。
※リボン部分は片側のローラーにシールのようなものが見えますが絶対に外さないで下さい。

3．交換リボンの設定（オートリボンセレクト）

新しいリボンを取付けた場合や異なる種類のリボンに交換した場合には、
必ずその都度、下記の手順に従ってパソコンのプリンタドライバで交換リボンの設定を行って下さい。
もし、行っていない場合には正常に印刷できません。

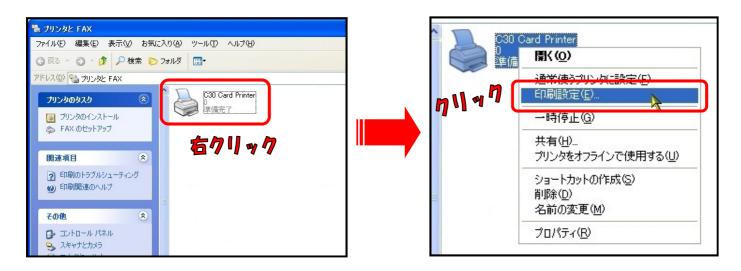
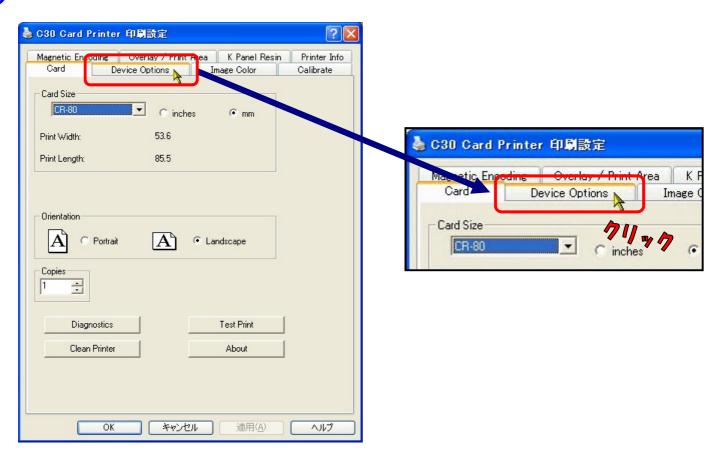
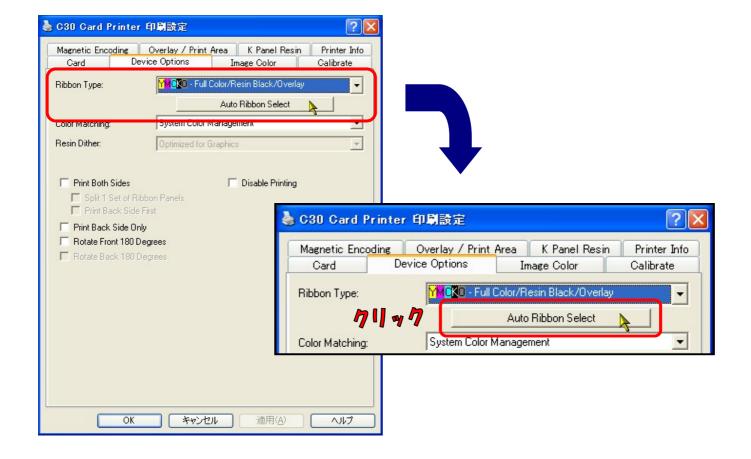
重 要 !! ⚠

● 交換リボンの設定を実行しても正常に設定が出来ない場合もございます。

設定が出来ない場合は本書の【 困ったときのQ＆A　Q1 リボンが認識されません。】の項をご覧下さい。

① デスクトップの”スタートボタン”をクリックし、
スタートメニューから”プリンタと FAX”をクリックします。
※ご使用の Windows が Vista の場合には
スタートボタン → コントロールパネル
→ ハードウェアとサウンド→ プリンタ の順に
クリックして下さい。

② 『プリンタと FAX』のウインドウにある”C30 Card Printer”のアイコンか文字の上で右クリックし、
ショートカットメニューから”印刷設定”をクリックして下さい。

『C30 Card Printer 印刷設定』の画面が表示されましたら、上のタブから”Device Options”をクリックして下さい。

④ 『C30 Card Printer 印刷設定』の内容が”Device Options”のもの（下図）に切り替わりましたら、”Ribbon Type”の項目にある”Auto Ribbon Select”ボタンをクリックして下さい。

同じ種類(カラーリボンからカラーリボン・モノクロリボンからモノクロリボン)の交換リボンの設定が完了した場合は"The current ribbon selection is correct"と表示されます。確認出来ましたら"OK"をクリックして下さい。

異なる種類の交換リボンの設定が完了した場合は"The ribbon selection has been successfully updated"と表示されます。確認出来ましたら"OK"をクリックして下さい。

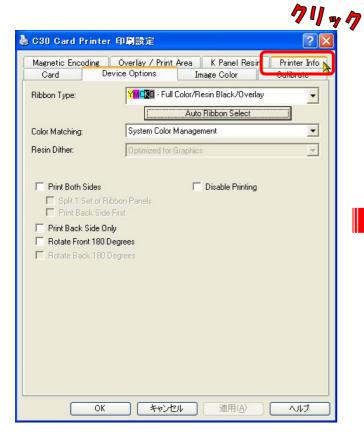
同じ種類のリボンを交換した場合

異なる種類のリボンを交換した場合

補足:リボン残量の確認方法

交換リボンの設定が正常に完了している場合にはリボン残量を確認することができます。
残量の確認は必ず行う必要はありませんが、設定が正常に行われていることを確かめる場合やリボンの交換時期を知るのに役立ちます。確認は下記の手順に従って行って下さい。

『C30 Card Printer 印刷設定』のウインドウ(下図 左側)を表示し、上のタブから"Printer Info"をクリックして下さい。

『C30 Card Printer 印刷設定』の内容が"Printer Info"(下図 右側)に切り替わりましたら、
画面上で、現在取付けられている『リボンの種類』と『リボン残量』を確認することが出来ます。
確認出来ましたら"OK"をクリックして下さい。
※これまでの総印刷枚数も同じ画面で確認することが出来ます。

新しいリボンのご注文は購入された代理店、またはメディングにご相談下さい。

困ったときの Ｑ＆Ａ

Ｑ１.リボンが認識されません。（リボンセンサーの初期化）

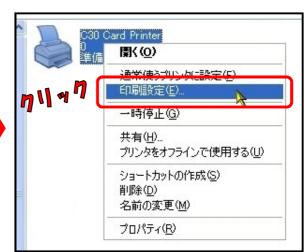
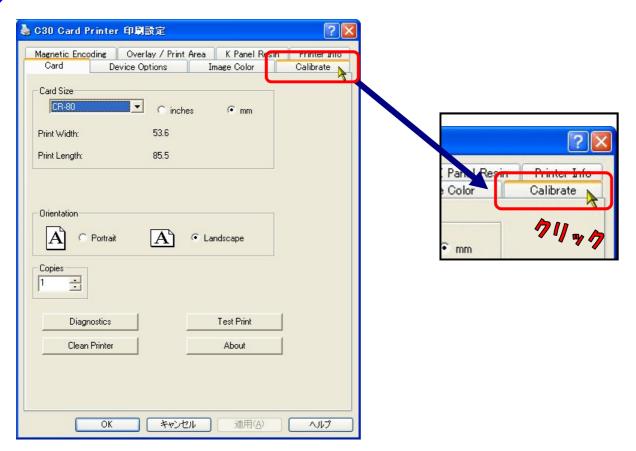
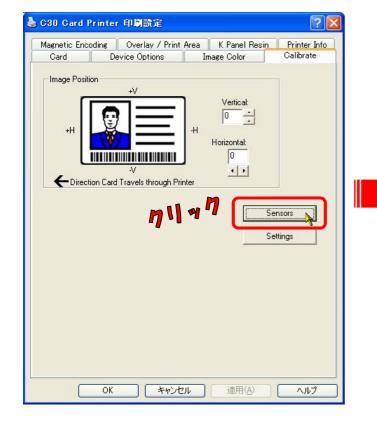
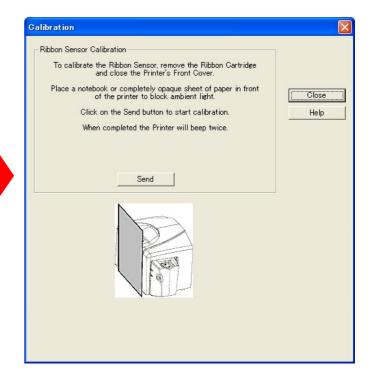
新しいリボンに交換した場合や、頻繁に異なるリボンを交換した場合、あるいはそれまで使用していたものと異なるパソコンと接続をした場合などにリボンセンサーが正しく認識されなくなる場合があります。
正しく認識させるには、リボンセンサーの初期化を行う必要があります。 必ず下記の手順に従って初期化を行って下さい。

重 要 !!

リボンセンサーの初期化を行う前に、必ず下記の2つことを行って下さい。
※行っていない場合、正常に初期化できない場合があります。

- **カードホッパーのカードは全て取り除く**
- **インクリボンカートリッジを本体から取り出す**

① **デスクトップの"スタートボタン"をクリックし、スタートメニューから"プリンタと FAX"をクリックします。**
※ご使用の Windows が Vista の場合には
スタートボタン → コントロールパネル
→ ハードウェアとサウンド→ プリンタ の順に
クリックして下さい。

② **『プリンタと FAX』の画面にある"C30 Card Printer"のアイコンか文字の上で右クリックし、ショートカットメニューから"印刷設定"をクリックして下さい。**

『C30 Card Printer 印刷設定』の画面が表示されましたら、上のタブから"Calibrate"をクリックして下さい。

『C30 Card Printer 印刷設定』の内容が"Calibrate"(下図左側)に切り替わりましたら、
右下にある"Sensors"をクリックして下さい。
『Calibration』の画面が表示されましたら、画面を一旦そのままにしてプリンタ本体の準備に移ります。

リボンセンサーの初期化を行うには、プリンタ本体の前面のフロントカバー全体をノート用紙などで覆う必要があります。プリンタ本体の箱の中に”クリーニングをしていますか？”と書かれた紙が入った、チャック付き袋を同梱しておりますので、それを使って覆うようにして下さい。

クリーニングをしていますか？
1000枚に1回クリーニングが必要です。

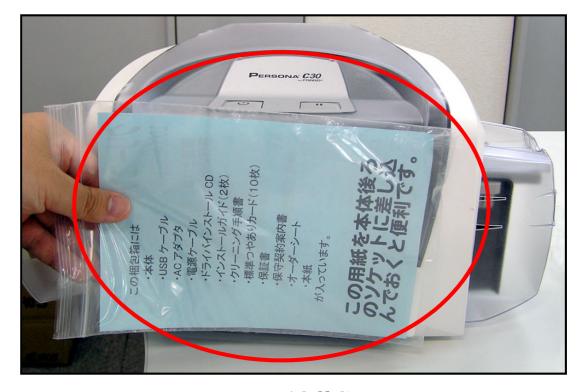
御買上げ頂きありがとうございます。
操作のお問合せは下記へお願いします。

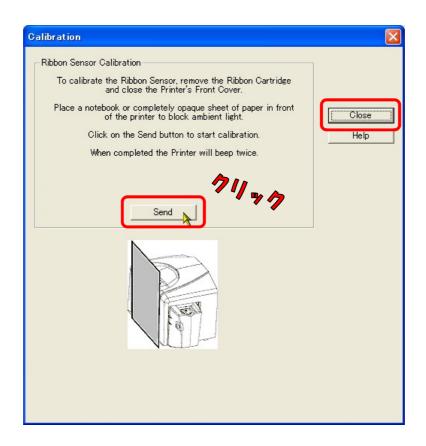
メディング カード事業部
TEL 088-692-5111
FAX 088-692-7333
card-01@meding.co.jp

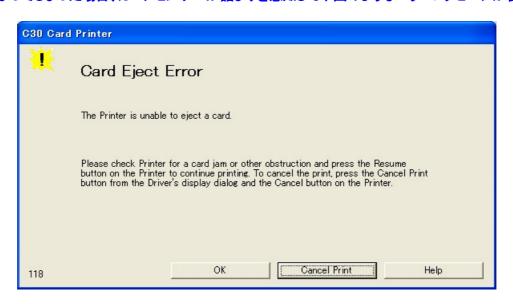
貴社でお使いのリボンの種類は

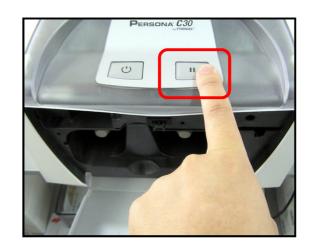
	品名	品番	仕様	標準価格
□	5パネルカラーリボン	44200	250 イメージ/巻	13,500
□	単色リボン(プレミアム黒)	44201	1,000 イメージ/巻	8,000
□	単色リボン(黒)	44202	1,000 イメージ/巻	4,000
□	6パネルカラーリボン	44210	200 イメージ/巻	14,800
□	2パネルリボン(黒+オーバーコート)	44211	500 イメージ/巻	10,000

チャック付き袋

前面のフロントカバー全体をチャック付き袋で覆った状態です。
この状態のままで次のパソコンの操作に移ります。しっかり覆えていない場合は失敗しますので注意して下さい。
※チャック付き袋が見あたらない場合は、ノートなどの覆うことが出来る遮蔽物で代用して下さい。

フロントカバーを遮蔽物で覆います。

『Calibration』画面の下にある"Send"をクリックして下さい。
正常にリボンセンサーの初期化が終了した場合には、ピー・ピーと2回ほど信号音が本体から鳴ります。
終了後は右上にある"Close"ボタンで画面を閉じて下さい。
※本体からインクリボンカートリッジを取り除いていない等の場合には信号音が鳴らずモーター音が小さくします。
　この場合でもリボンセンサーの初期化は行えますが、いつ終了したか非常に分かり難いですので、
　出来るだけ取り除いた状態で行って下さい。

Ｑ２.カードが詰まりました。（エラーメッセージ編）

通常カードが詰まってしまった場合、カードセンサーが詰まりを感知して下図のようなエラーメッセージが表示されます。

この場合には、本体のフロントカバーを開けてインクリボンカートリッジを取り出し、フロントカバーを開けたままで
本体上側にある２つのボタンでローラーを回転させることでカードを取り除きます。（下図参照）
取り除いた後にエラーメッセージの”OK” をクリックすると、もう一度印刷が実行されます。
※2 つのボタンは正常時は『電源ボタン』と『一時停止ボタン』ですが、エラー時にはボタンの役割が変わります。

ローラー左回転

ローラー右回転

Ｑ３.カードが詰まりました。（プリンタリスタート編）

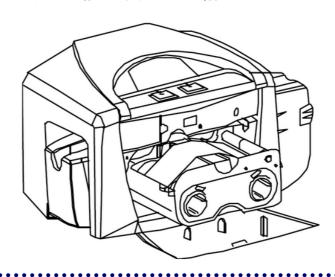
カード詰まりが起こった際、エラーメッセージが表示されずにカードが排出されない場合があります。
これはカード排出センサーの検知ミスでカードが入っている状態にも係わらず、カードが排出されたと判断した場合に起こります。
※このとき、ポーという信号音が１度プリンタ本体から出ますがパソコン側にエラーメッセージは表示されません。
この現象が起こった場合、プリンタリスタートを行うことでカードを排出することが出来ます。

プリンタリスタートを行うにはプリンタ本体の電源を一度切る必要がありますが、この現象が起こっている場合には電源ボタンを使って電源を切ることが出来ません。直接、本体の電源ケーブルを抜いて下さい。
※写真では背面のアダプタ側を抜いていますが、コンセント側を抜いて頂いても同様の効果があります。

3秒程度たちましたらもう一度、電源ケーブルを差し込んで下さい。
自動的にプリンタリスタートが実行され、詰まっていたカードが排出されます。
※プリンタリスタート後は電源を入れ直した状態ですのですぐに印刷することが出来ます。

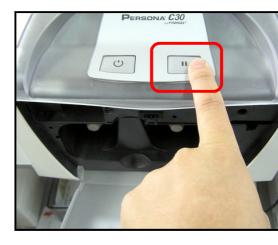
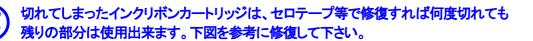
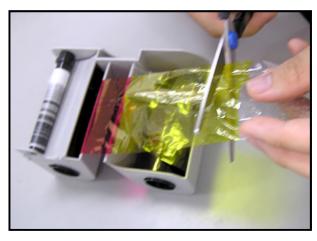
Ｑ４.リボンが切れました・詰まりました。

『印刷設定が濃すぎる』・『カードが反っていた』など何らかの原因で、インクリボンカートリッジのリボンが切れたり、
プリンタ内部のローラーに絡まってしまう場合があります。
このような現象が起こった場合には下記の手順に従って対処して下さい。

① 本体のフロントカバーを開きインクリボンカートリッジを取り出して下さい。
このとき本体内部のローラーにリボンが絡んで取り出せない場合はハサミなどで切って下さい。

② フロントカバーを開けたままで、本体上側にある２つのボタンでローラーを回転させてリボンの切れ端が内部に
残っていないか確認して下さい。もし、残っている場合には全て取り除いて下さい。
※切れ端が残っている場合にはカサカサ・パリパリと擦れるような音がします。
※取り除いた後は、念のためクリーニングを実施して下さい。

ローラー左回転

ローラー右回転

③ 切れてしまったインクリボンカートリッジは、セロテープ等で修復すれば何度切れても残りの部分は使用出来ます。下図を参考に修復して下さい。

1. 両側のリボンを少し長めに引っ張り出します。

2. ハサミで両側のリボン先端をまっすぐに、切り揃えます。

3. セロテープで両端を修復します。

4. 修復したリボンを左側のローラーを左回りに多めに回してカートリッジに巻き戻して下さい。

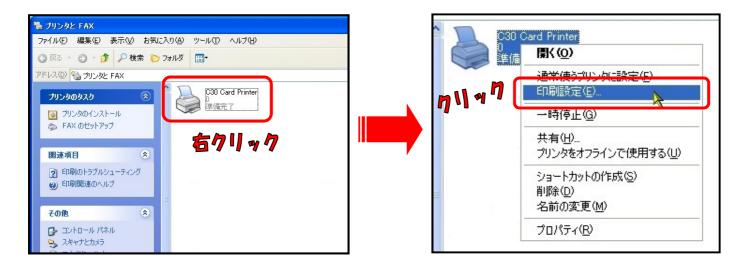
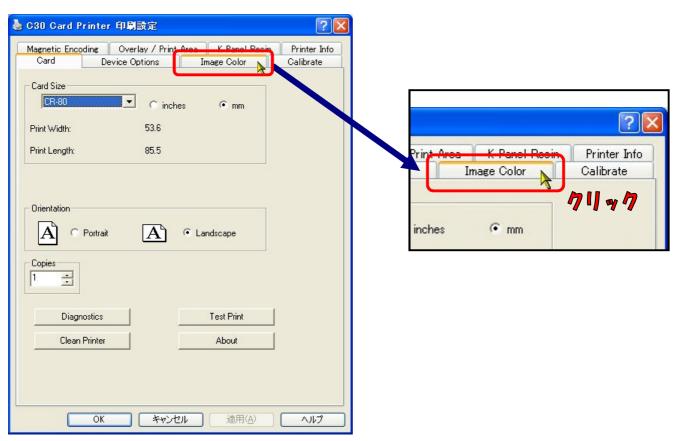
※セロテープが見える程度しか巻いていないとまた切れてしまいます。

Ｑ５.印刷結果が薄い（濃い）です。

本機のように、プラスチックに直接印刷するすべての染料昇華型カードプリンタはその性質上、画面で見るよりも薄く(または濃く)印刷される場合があります。これは下記の手順に従って、**プリンタドライバの設定を変更する**ことである程度の調整が出来ます。
※染料昇華型カードプリンタは性質上、淡い色やカード全面に対してのグラディエーションなどは印刷がうまく表現出来ない場合があります。どうしても改善しない場合は、パソコンで作成したデザイン自体の色を調整したり変更することもお薦めします。

① デスクトップの"スタートボタン"をクリックし、
スタートメニューから"プリンタと FAX"をクリックします。
※ご使用の Windows が Vista の場合には
スタートボタン → コントロールパネル
→ ハードウェアとサウンド→ プリンタ の順に
クリックして下さい。

※アプリケーションの印刷項目で本機(C30)を選択し、
プロパティから設定しても同様のことが出来ます。
その場合は手順 ③ からご覧下さい。

② 『プリンタと FAX』のウインドウにある"C30 Card Printer"のアイコンか文字の上で右クリックし、
ショートカットメニューから"印刷設定"をクリックして下さい。

『C30 Card Printer 印刷設定』の画面が表示されましたら、上のタブから"Image Color"をクリックして下さい。

『C30 Card Printer 印刷設定』の内容が"Image Color"(下図左側)に切り替わりましたら、
項目の中から"Dye-Sub Intensity:(YMC)"の目盛りを動かすことでカラーの濃度調整が出来ます。
この目盛りは0%を基本値にして数字が大きくなるほど『濃く』、小さくなるほど『薄く』なります。
※同様に"Resin Heat,Frot:(K)" の目盛りを動かすことでモノクロ(黒)の濃度調整が出来ます。
※注意！極端に大きな数値(すべて最大等)を設定した場合は印刷が乱れたり、リボンが切れる恐れがあります。

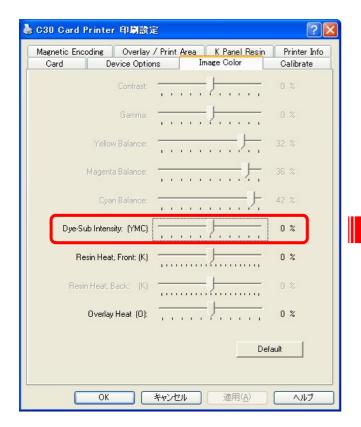
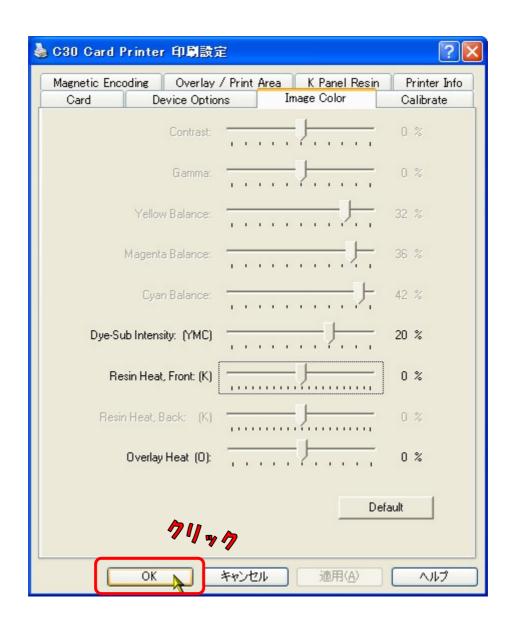
C30 Card Printer 印刷設定

Magnetic Encoding | Overlay / Print Area | K Panel Resin | Printer Info
Card | Device Options | Image Color | Calibrate

Contrast: 0 %
Gamma: 0 %
Yellow Balance: 32 %
Magenta Balance: 36 %
Cyan Balance: 42 %
Dye-Sub Intensity: (YMC) 20 %
Resin Heat, Front: (K) 0 %
Resin Heat, Back: (K) 0 %
Overlay Heat (O): 0 %

Default

クリック

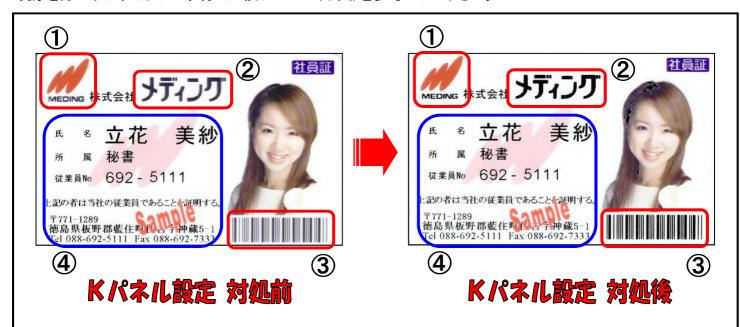
OK | キャンセル | 適用(A) | ヘルプ

Ｑ６－１．黒にしたい部分がグレーで印刷されます。

デザインしたデータを本機で印刷した際に、黒色で作ったはずの部分がグレー(薄い黒)で印刷される場合があります。
これは本機の初期設定がロゴマークや写真を含めたすべての画像データを黒色であってもカラーの印刷対象として
カラーリボンの掛け合わせで印刷するようになっているために起こる現象です。
※文字として入力された部分は初期設定のままでも黒色で印刷されます。

この現象は主に以下のようなデータを印刷しようとした場合に起こります。

- 文字も含めた印刷対象が一枚の画像データ(BMP、JPG、TIFF など)の場合
- 黒色を含んだ画像データ(BMP、JPG、TIFF など)を差し込んだ場合
- バーコード部分を含んだデータ
- テキストエディタ機能を持たないソフトウェアから変換した PDF データを印刷した場合
- Macintosh で作られた Adobe Illustrator のデータを Windows の Adobe Illustrator で印刷した場合

この現象は、K(黒)パネルを画像データにも使用するように設定することで対処出来ます。 (手順は次ページ)

現象を分かりやすく示した印刷の比較サンプル(下図)を参考にして下さい。

枠で囲った箇所の番号に使っているデータの内容

① 「MEDING」の部分は上のロゴマークも含めて1つの JPG 画像
　対処後 ： ロゴマーク(赤色)はそのままで、黒がはっきりと印刷されている。

② 「メディング」の文字は JPG 画像
　対処後 ： 文字全体がはっきりと黒で印刷されている。

③ バーコード(画像として認識される)
　対処後 ： バーコードと一目でわかる黒で印刷されている。

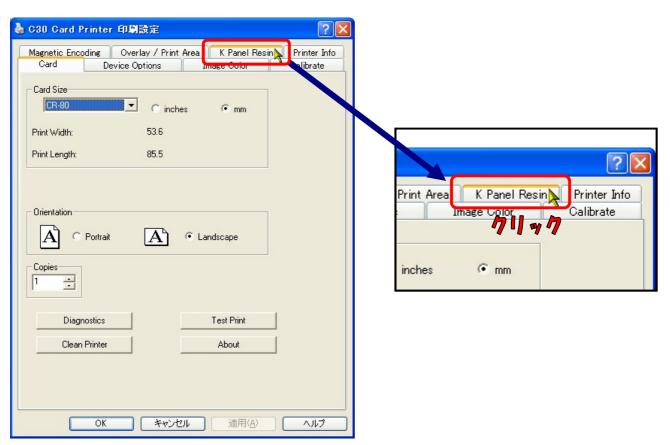
④ カードをデザインしたソフトの中でテキストデータとして入力したデータ
　対処後 ： テキストデータは最初からK(黒)パネルを使って印刷されるので変化は無い。

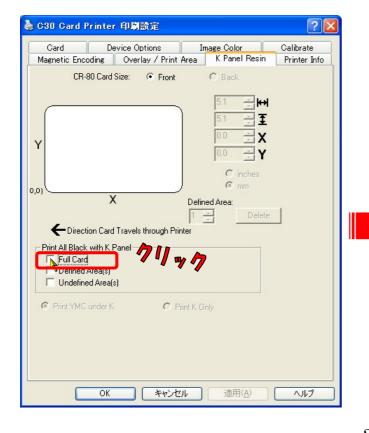
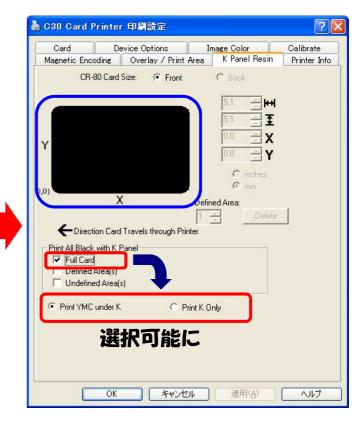
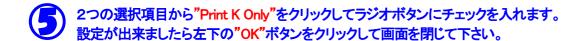
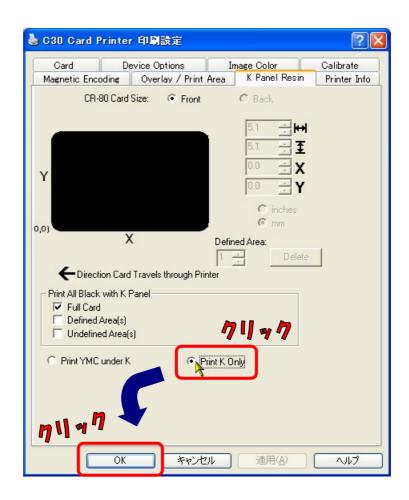
Kパネル設定の手順は次ページをご覧下さい。

デスクトップの"スタートボタン"をクリックし、
スタートメニューから"プリンタと FAX"をクリックします。
※ご使用の Windows が Vista の場合には
スタートボタン → コントロールパネル
→ ハードウェアとサウンド→ プリンタ の順に
クリックして下さい。

※アプリケーションの印刷項目で本機(C30)を選択し、
プロパティから設定しても同様のことが出来ます。
その場合は手順 ③ からご覧下さい。

『プリンタと FAX』のウインドウにある"C30 Card Printer"のアイコンか文字の上で右クリックし、
ショートカットメニューから"印刷設定"をクリックして下さい。

『C30 Card Printer 印刷設定』の画面が表示されましたら、上のタブから"K Panel Resin"をクリックして下さい。

『C30 Card Printer 印刷設定』の内容が"K Panel Resin"（下図左側）に切り替わりましたら、
項目の中から"Print All Black with K Panel"の"Full Card"にクリックしてチェックを入れます。
チェックを入れるとカードイメージが黒く塗りつぶされ（下図右側）、下の2つの項目
"Print YMC under K"と"Print K Only"が選択出来るようになります。

⑤ 2つの選択項目から"Print K Only"をクリックしてラジオボタンにチェックを入れます。
設定が出来ましたら左下の"OK"ボタンをクリックして画面を閉じて下さい。

選択出来るようになった"Print YMC under K"と"Print K Only"は印刷する用途に応じて使い分けが出来ます。

- Print YMC under K ： YMC(カラー)パネルとK(黒)パネルの全てを使って重ね塗りの黒色を印刷します。
- Print K Only ： K(黒)パネルのみを使ってはっきりとした印刷を行います。
  ※通常は黒色をはっきりと印刷される場合には必ずこちらを選択して下さい

Ｑ６－２．写真の一部が黒ベタで印刷されます。

この現象は、**困ったときの Q&A** にある Q6－1（**黒にしたい部分がグレーで印刷されます**）の対処方法で黒色の部分をはっきりと印刷する”Print All Black with K Panel”の”Full Card”にチェックを入れる弊害として起こります。

”Print All Black with K Panel”の”Full Card”の設定を行った場合、印刷するデザインのすべての黒色の部分にK（黒）パネルを使用してしまうことが原因で、人物写真の髪の毛や服など自然な掛け合わせの黒で印刷したかった部分に黒ベタが印刷されます。

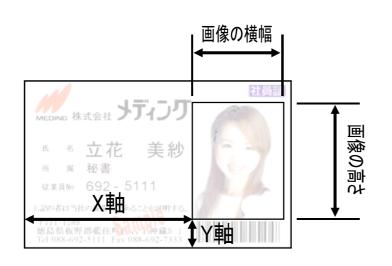
現象を分かりやすく示した印刷サンプル（下図）を参考にして下さい。

青枠　：　黒ベタに設定したかった画像

赤枠　：　弊害で黒ベタになってしまった画像の部分

このようなときには、黒色にしたくない場所を避けるように設定を行います。
下記の手順に従って対処して下さい。

※下記の手順では分かりやすく理解して頂けるよう印刷したカードを元にした方法を記載していますが、
ベタを避けたい場所が印刷する前に分かる場合には1枚目の印刷から設定して頂けます。

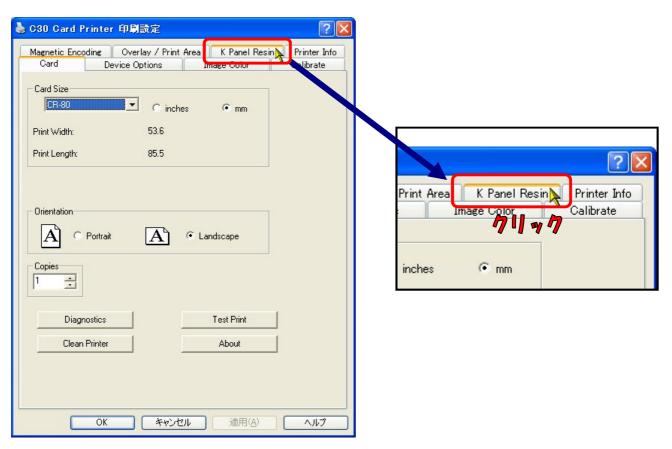
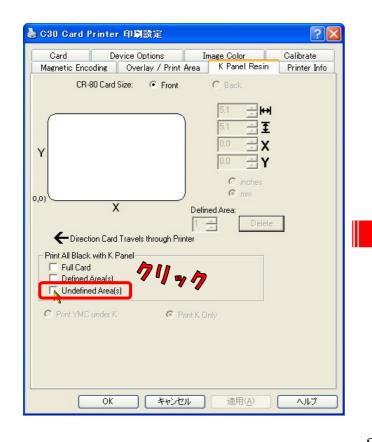
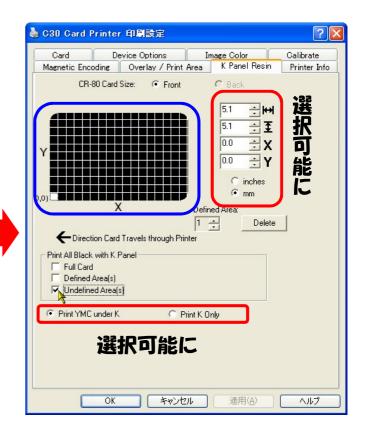
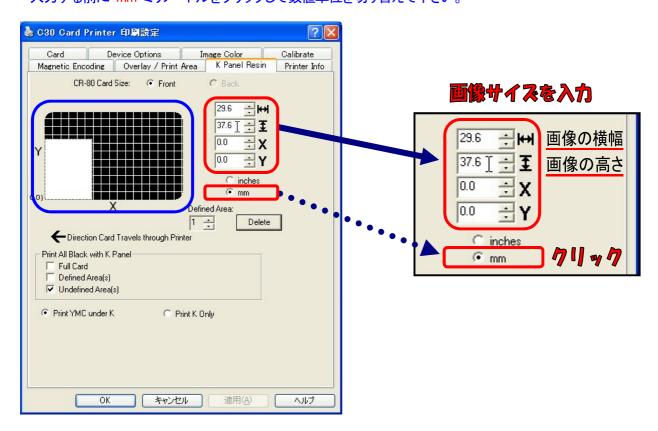
印刷したカードの黒ベタになってしまった画像の4つの要素の距離（ X軸 ・ Y軸 ・ 画像の横幅 ・ 画像の高さ ）を「定規（ものさし）」で測って下さい。

【定規で測る4つの要素】

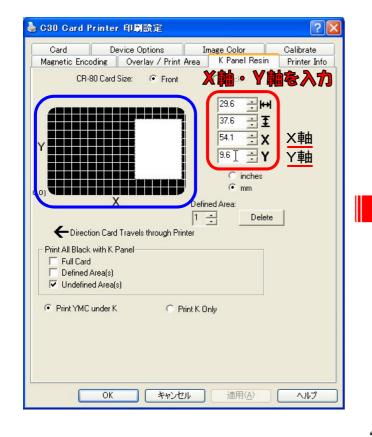
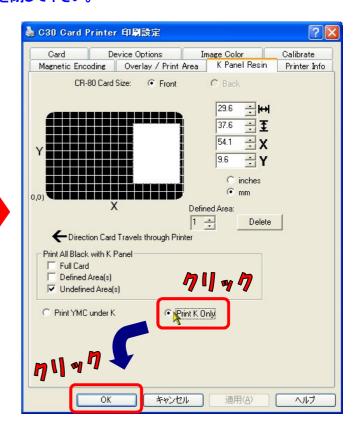
- Ｘ軸 （カード左端から画像までの距離）
- Ｙ軸 （カード下端から画像までの距離）
- 画像の横幅
- 画像の高さ

デスクトップの”スタートボタン”をクリックし、
スタートメニューから”プリンタと FAX”をクリックします。
※ご使用の Windows が Vista の場合には
スタートボタン → コントロールパネル
→ ハードウェアとサウンド→ プリンタ の順に
クリックして下さい。

※アプリケーションの印刷項目で本機(C30)を選択し、
プロパティから設定しても同様のことが出来ます。
その場合は手順 ③ からご覧下さい。

③ 『プリンタと FAX』のウインドウにある”C30 Card Printer”のアイコンか文字の上で右クリックし、
ショートカットメニューから”印刷設定”をクリックして下さい。

『C30 Card Printer 印刷設定』の画面が表示されましたら、上のタブから"K Panel Resin"をクリックして下さい。

『C30 Card Printer 印刷設定』の内容が"K Panel Resin"（下図左側）に切り替わりましたら、
項目の中から"Print All Black with K Panel"の"Undefined Area(s)"にクリックしてチェックを入れます。
チェックを入れるとカードイメージがブロック状に黒く塗りつぶされ（下図右側）、右の数値入力ボックスと
下の2つの項目"Print YMC under K"と"Print K Only"が選択出来るようになります。
※"Undefined Area(s)"とは指定した場所は K(黒)パネルを使わないという意味です。

画面右にある数値入力ボックスに『手順①』(P32) で測った画像の横幅と画像の高さをそれぞれ入力します。
数値を入力すると入力したサイズの白抜き枠が画面左のカードイメージに反映されます。
※初期設定では入力する数値単位が"inchies"(インチ)になっている場合があります。
入力する前に"mm"ミリメートルをクリックして数値単位を切り替えて下さい。

前項(⑥)に続けて数値入力ボックスに『手順①』(P32) で測った X 軸と Y 軸を入力します。(下図左側)
数値を入力すると白抜き枠の位置が画面左のカードイメージに反映されます。
画面下の2つの選択項目から"Print K Only"をクリックしてラジオボタンにチェックを入れます。
設定が出来ましたら左下の"OK"ボタンをクリックして画面を閉じて下さい。

C30　サプライ品のご紹介

クリーニングキット
型番 89200

5パネルカラーリボン
型番 44200

単色リボン ／ 黒
型番 44202

IDカード　つやあり(白無地)
0.76mm　標準　100枚入
型番 5800000